

平成28年度下半期 市の財政状況

地方自治法第243条の3第1項と恵那市財政状況の公表に関する条例の規定に基づき、市では定期的に財政状況を公表しています。今回は本年3月31日現在の予算の執行と基金、地方債の状況をお知らせします。
財務課 26-2111 (内線336)

表1 補正予算の状況 (10月1日～3月31日)

内訳	補正前の額	補正額	合計
一般会計	293億9,482万円	14億5,094万円	308億4,576万円
特別会計	163億8,492万円	▲4億8,277万円	159億0,215万円
企業会計	137億4,340万円	▲10億1,934万円	127億2,406万円
合計	595億2,314万円	▲5,117万円	594億7,197万円

※補正額には昨年度からの繰越明許費を含む。企業会計の予算額は支出予算

5千百万円を減額補正

昨年度下半期の予算を表1にまとめました。一般会計は14億5094万円の増額、特別会計は4億8277万円の減額、企業会計は10億1934万円の減額補正を行いました。補正予算の主な内訳は、一般会計では12月に武並小学校体育館の改築工事に3億6310万円、臨時福祉給付金に1億5070万円、9月発生台風の被害による災害復旧費に1億5138万円、市道袖畑笠作線・清水白坂線工事費に3000万円、農業用機械導入や農用地利用集積に対する補助金に2945万円、大正村浪漫亭リニューアル経費として243

5万円、放課後等デイサービスの利用者増により障がい児通所給付費に1177万円を増額しました。3月には、恵那東中学校大規模改修工事に3億5541万円、笠置コミュニティセンター増築工事に7830万円、将来負担の軽減を図るための地方債の繰上償還に12億8867万円を増額しました。また、特別会計では、3月に国民健康保険特別会計で国民健康保険団体連合会への保険財政共同安定化事業拠出金の減により2億135万円を減額、介護保険特別会計で介護サービス給付費等の減により1億4389万円を減額しました。企業会計では、水道事業会



▲昨年10月にリニューアルした大正村浪漫亭

一般会計は91%収入済み

一般会計の収入率は91.3%、支出率は80.3%となっています。収入と支出の内訳

表2 一般会計収入の状況

科目	現計予算額	収入済額	収入率
市税	69億1,910	70億1,449	101.4%
地方譲与税	2億8,480	2億8,422	99.8%
利子割交付金	960	852	88.8%
配当割交付金	4,390	2,175	49.5%
株式等譲渡所得割交付金	2,970	1,101	37.1%
地方消費税交付金	9億4,550	9億0,080	95.3%
ゴルフ場利用税交付金	1億1,630	1億2,151	104.5%
自動車取得税交付金	6,200	6,513	105.0%
地方特例交付金	2,490	2,534	101.8%
地方交付税	96億1,104	100億6,998	104.8%
交通安全対策特別交付金	590	566	96.0%
分担金及び負担金	3億0,701	2億4,852	80.9%
使用料及び手数料	3億9,650	3億5,836	90.4%
国庫支出金	24億3,218	19億3,237	79.4%
県支出金	20億7,744	11億9,790	57.7%
財産収入	1億7,775	1億8,300	103.0%
寄付金	2,408	2,982	123.8%
繰入金	13億2,946	13億1,597	99.0%
繰越金	14億9,890	14億9,891	100.0%
諸収入	7億9,310	7億6,476	96.4%
市債	37億5,660	20億9,960	55.9%
合計	308億4,576	281億5,761	91.3%

表3 一般会計支出の状況

科目	現計予算額	支出済額	支出率
議会費	2億0,501	1億9,697	96.1%
総務費	43億9,042	36億8,096	83.8%
民生費	76億8,046	60億7,016	79.0%
衛生費	49億7,216	42億0,786	84.6%
労働費	5,550	5,295	95.4%
農林水産業費	12億7,690	9億7,446	76.3%
商工費	11億3,783	8億2,941	72.9%
土木費	17億9,710	7億7,926	43.4%
消防費	9億2,234	8億7,853	95.3%
教育費	33億4,822	22億9,014	68.4%
公債費	47億7,285	47億3,180	99.1%
予備費	3,000	0	0.0%
災害復旧費	2億5,695	6,861	26.7%
合計	308億4,576	247億6,112	80.3%

表2と表3にまとめました。特別会計では収入率82.0%、支出率89.3%となっています。一般会計と特別会計の予算年度は、4月1日から3月31日までですが、翌年度の5月までを出納整理期間として、旧年度中の支払い、収入を整理する期間としています。終了した工事の支払いなどは、この期間に行います。また収入でも国・県の支出金や、市債は事業の完了後に収入するため、出納整理期間に収入の手続きを行います。一般の民間企業と同様の経理を行う企業会計では、水道事業会計の施設管理費用などの収益的支出で48.1%、建設工事などの資本的支出で76.7%が支出済みとなっています。病院事業会計では、医療費用などの収益的支出で94.1%、施設整備などを行う資本的支出で99.7%が支出済みとなっています。この他、介護老人保健施設事業会計と、国民健康保険診療所事業会計を合わせた企業会計全体では92.5%が支出済みとなります。

市債(市の借金)と、基金(市の貯金)の状況を表4と表5にまとめました。市債は、一般会計では昨年度より約15億6千万円減少し、借入の残高は307億6842万円。特別会計と企業会計を合わせると506億5547万円です。市民1人当たりでは、98万8419円となります。この借金の返済のうち、およそ7割は地方交付税として国から財政支援を受けられる対象となるため、実際の市の負担は借入残高よりも軽減されます。基金は、一般会計の基金が162億9021万円、特別会計の基金が8億1071万円、この他に運用基金と企業会計の基金を合わせると189億1899万円となり、市民1人当たりでは36万9158円となりました。詳しくは、市ウェブサイト (<http://www.city.ena.lg.jp/>)でも公表しています。平成28年度の決算は、11月発行の本紙に掲載の予定です。

市民1人当たりの市債残高は約98万8千円

表4 市債の状況

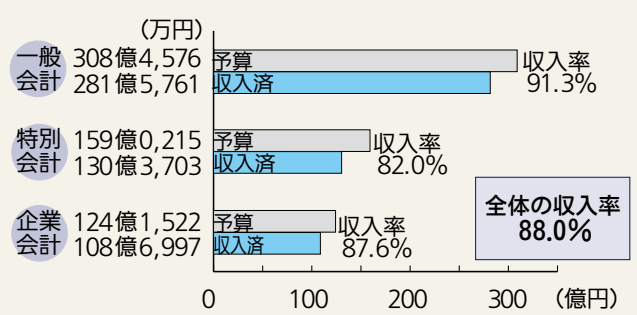
区分	現在高	市民1人当たり
一般会計	307億6,842万円	60万0,371円
特別会計	136億8,379万円	26万7,006円
企業会計	62億0,326万円	12万1,042円
市債総計	506億5,547万円	98万8,419円

表5 基金の状況

区分	現在高	市民1人当たり
積み立てる基金	171億0,091万円	33万3,683円
一般会計の基金	162億9,021万円	31万7,864円
特別会計の基金	8億1,071万円	1万5,819円
運用する基金	13億1,378万円	2万5,635円
企業会計の基金	5億0,430万円	9,840円
基金総計	189億1,899万円	36万9,158円

※人口は4月1日現在の51,249人を基準。端数処理のため金額が合わない場合があります

《歳入の状況》



《歳出の状況》

